

議会だより

題字は、肥田中学校3年生 戸松優月さんの作品です。

発行：土岐市議会 編集：議会だより編集委員会 TEL0572-54-1111 FAX0572-54-8971 E-mail：gikai@city.toki.lg.jp



Contents

- 第5回定例会報告…………… 2～5ページ
- 委員会報告…………… 6～8ページ
- 一般質問…………… 9～14ページ
- 議会報告会…………… 15ページ
- 編集後記…………… 16ページ

土岐市消防団出初式

1月7日に土岐市消防団による出初式が行われました。
消防出初式は消防団員や消防署職員による日頃の訓練成果を披露する場であるとともに、地域の防災意識を高め、安全意識を共有する機会となります。
また、地域の交流や連携を深める場ともなっています。

令和5年

第5回定例会報告

議案番号	議案名	議案の主な内容
議第75号	令和5年度土岐市一般会計補正予算(第4号)	補正額 118,394千円
議第76号	令和5年度土岐市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	歳入 △2,438千円 歳出 △2,438千円
議第77号	令和5年度土岐市介護保険特別会計補正予算(第1号)	歳入 7,545千円 歳出 7,545千円
議第78号	令和5年度土岐市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	歳入 △1,520千円 歳出 △1,520千円
議第79号	令和5年度土岐市水道事業会計補正予算(第1号)	収益的支出 449千円 資本的支出 588千円
議第80号	令和5年度土岐市下水道事業会計補正予算(第1号)	収益的支出 5,562千円 資本的支出 308千円
議第81号	土岐市部設置条例の一部を改正する条例について	令和6年4月1日から、産業文化部を新設するもの
議第82号	土岐市教育に関する事務の職務権限の特例を定める条例について	行政組織機構の見直しに伴い、教育委員会の所掌する事務の一部を市長が管理し、及び執行するため、当該条例を定めようとするもの。
議第83号	土岐市職員定数条例の一部を改正する条例について	行政組織機構の見直し等に伴い、市長部局の職員の定数を431人から466人に増員等するため、当該条例を改正するもの。
議第84号	土岐市職員の給与に関する条例及び土岐市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	令和5年の人事院勧告に基づく国家公務員の給料表、期末手当及び勤勉手当改定に準じて、関係条例を改正するもの。
議第85号	土岐市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	令和5年の人事院勧告に基づく一般職職員の給与の改定に準じて、市議会議員の期末手当の額を改定するため、この条例を改正するもの。
議第86号	土岐市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	令和5年の人事院勧告に基づく一般職職員の給与の改定に準じて、常勤の特別職職員の期末手当の額を改定するためこの条例を改正するもの。
議第87条	土岐市印鑑条例の一部を改正する条例について	印鑑登録証明書の交付申請を、電子情報処理組織を利用してできるようにするもの。また、コンビニ交付において移動端末設備を利用してできるようにするもの。
議第88号	土岐市手数料徴収条例の一部を改正する条例について	政令の一部改正に伴い、液化石油ガスの貯蔵施設等の設置に係る完成検査の手数料を算出する際に、対象から除くこととされた完成検査を追加するため、この条例を改正するもの。
議第89号	土岐市障害者就労支援施設ひだ作業所の設置及び管理に関する条例について	ひだまり老人デイサービスセンターを廃止することに伴い、この条例を定めようとするもの。
議第90号	土岐市認定こども園条例の一部を改正する条例について	土岐市立の保育園を認定こども園へ制度移行することに伴い、認定こども園の類型を定めるため、この条例を改正するもの。
議第91号	土岐市総合福祉センター・ウエルフェア土岐の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	母子・父子福祉センターを廃止するため、この条例を改正するもの。
議第92号	土岐市立児童館の指定管理者の指定について	土岐市立児童館（土岐津児童館・駄知児童センター・肥田児童センター・泉児童館）の指定管理者として社会福祉法人土岐市社会福祉協議会 会長 館林慶二を指定しようとするもの。

第5回定例会には、予算関係8件、条例関係12件、その他の案件11件の合計31件が市長から上程されました。委員会付託された議案については各委員会で12月13日・15日・18日に審議され、本会議において原案のとおり可決しました。本会議での採決状況及び結果につきましては、下記のとおりです。

○：賛成 ×：反対

議案番号	議決結果	伊藤公男	安藤勝彦	渡邊豪	木股英明	大久保一夫	山内健	後藤正樹	安藤学	小関篤司	水石玲子	水野哲男	北谷峰二	鈴木正義	加藤淳一	杉浦司美	小栗恒雄	西尾隆久	塚本俊一
議第75号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議第76号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議第77号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議第78号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議第79号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議第80号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議第81号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○
議第82号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議第83号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議	○
議第84号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議第85号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議第86号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	○
議第87号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議第88号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議第89号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議第90号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議第91号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議第92号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○

議案番号	議 案 名	議案の主な内容
議第93号	土岐市総合福祉センター・ウエルフェア土岐の指定管理者の指定について	土岐市総合福祉センター・ウエルフェア土岐の指定管理者として、社会福祉法人土岐市社会福祉協議会 会長 館林慶二を指定しようとするもの。
議第94号	土岐市老人福祉センターの指定管理者の指定について	土岐市老人福祉センターの指定管理者として、社会福祉法人土岐市社会福祉協議会 会長 館林慶二を指定しようとするもの。
議第95号	土岐市障害者就労支援施設ひだ作業所の指定管理者の指定について	土岐市障害者就労支援施設ひだ作業所の指定管理者として、社会福祉法人土岐市社会福祉協議会 会長 館林慶二を指定しようとするもの。
議第96号	土岐市保健福祉センター・すこやか館の指定管理者の指定について	すこやか館老人デイサービスセンターの指定管理者として、社会福祉法人土岐市社会福祉協議会 会長館林慶二を指定しようとするもの。
議第97号	土岐市駄知公園運動広場の指定管理者の指定について	土岐市駄知公園運動広場の指定管理者として、土岐市駄知町体育協会 会長 酒井充裕を指定しようとするもの。
議第98号	土岐市営肥田グラウンドの指定管理者の指定について	土岐市営肥田グラウンドの指定管理者として、土岐市肥田町体育協会 会長 木股栄作を指定しようとするもの。
議第99号	土岐市営曾木グラウンドの指定管理者の指定について	土岐市営曾木グラウンドの指定管理者の指定について、土岐市曾木町体育協会 会長 日比野司を指定しようとするもの。
議第100号	市道路線の認定について	市内道路網の整備を図るため、市道の路線を認定しようとするもの。
議第101号	令和5年度土岐市一般会計補正予算（第5号）	補正額 420,500千円
議第102号	令和5年度土岐市病院事業会計補正予算（第2号）	補正額 収益的収入 30,000千円 収益的支出 30,000千円
議第103号	土岐市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	国民健康保険法施行令等の一部改正に伴い、出産を予定している被保険者に係る産前産後期間の保険料を免除するため、この条例を改正するもの。
議第104号	財産の取得の変更について	災害対応特殊救急自動車の取得の価格を「23,650,000円」から「22,458,700円」に変更するもの。
議第105号	損害賠償の額を定めることについて	平成28年6月2日、土岐市立総合病院において肝生検を実施した患者が検査後に死亡した医療事故に対する損害賠償の額を30,000,000円に定めようとする。
5 請願第1号	18歳までの医療費助成制度拡充を求める請願	請願者 新日本婦人の会土岐支部 支部長 梶田絹代
5 請願第2号	小・中学校給食費無償化を求める請願	請願者 新日本婦人の会土岐支部 支部長 梶田絹代



○：賛成 ×：反対

議案番号	議決結果	伊藤 公男	安藤 勝彦	渡邊 豪	木股 英明	大久保 一夫	山内 健	後藤 正樹	安藤 学	小関 篤司	水石 玲子	水野 哲男	北谷 峰二	鈴木 正義	加藤 淳一	杉浦 司美	小栗 恒雄	西尾 隆久	塚本 俊一
議第93号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長	○
議第94号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議第95号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議第96号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議第97号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議第98号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議第99号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議第100号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議第101号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議第102号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議第103号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議第104号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議第105号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
5 請願第1号	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×		×
5 請願第2号	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×		×

※5 請願第1号及び5 請願第2号の採決は、文教厚生委員会にて決定した継続審査に対する賛否です。



委員会報告(文教厚生委員会)

令和5年度土岐市一般会計補正予算(第4号)(所管部分)

質疑 指定管理施設への物価高騰支援金について、どのような基準で支援するのか。

答弁 令和3年度と今年度の電気量を比較し、高騰分を支援する。

質疑 泉こども園厨房機器増設工事について、空調機器増設に至った経緯は。

答弁 酷暑時に調理室の室温が、35度を超えることがあり、空調設備の設計を見直したところ、厨房空調能力の計算方法に誤りがある設計瑕疵が認められたため、設計業者が委託契約に基づき設計を修補することで空調設備の増強が必要となった。

土岐市障害者就労支援施設ひだ作業所の設置及び管理に関する条例について

質疑 ひだ作業所の利用者は何名か。

答弁 現在の利用者は10名である。

質疑 ひだまり老人デイサービスセンターが廃止されるが、現在の利用者は何名程度か。

答弁 11月の1日平均は約9名である。

土岐市認定こども園条例の一部を改正する条例について

質疑 認定こども園の類型を定めることにより、保護者や園児に影響はあるのか。

答弁 保護者や園児への負担や影響はない。

土岐市総合福祉センター・ウエルフェア土岐の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

質疑 母子・父子福祉センターの利用者の減少による廃止であるが、何名程度利用されているのか。

答弁 利用状況・相談実績は、令和3年度3名、令和4年度2名、今年度は0名である。

令和5年度土岐市一般会計補正予算(第5号) 所管部分

質疑 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金追加分の対象者とスケジュールは。

答弁 住民税非課税世帯5,800世帯を見込み、1月下旬から2月を目途に通知書の発送を予定している。

土岐市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

質疑 出産予定月前後の保険料の減額対象者の想定と減免額は。

答弁 年間15件程度を想定し、1件当たりの減免額は16,803円である。

5 請願第1号 18歳までの医療費助成制度拡充を求める請願について

意見 近隣自治体では医療費無料化の方向で進められている。さらには物価高騰が子育て世帯に大きな影響を与えている状況を是正するためにも、この請願を採択したい。

意見 9月定例会において、高校卒業までの子ども医療費窓口無料化を求める意見書を国に対して提出し、土岐市議会として明確な意思表示をした以上、一定期間、国の動向を見極める必要があり、現段階で結論を出すのは時期尚早であり継続審査としたい。

討論 いたずらに引き延ばすのではなく、物価高騰や経済的負担を考えると早期に実現してもらいたいというのが請願者の想いであり、早期採択すべきであり、継続審査には反対する。

討論 9月定例会において意見書を国に対して提出し、現段階で結論を出すのは時期尚早であり、動向を注視し、結論を出すべきであり、継続審査に賛成する。

5 請願第2号 小・中学校給食費無償化を求める請願について

- 意見** 物価高騰が子育て世帯に大きな影響を与えている状況や、食育の観点からも、給食費無償化を早期に実現すべきであり、この請願を採択したい。
- 意見** 給食費無償化は、国による財源措置と法整備の実施によって実現されるべきであり、9月定例会において、意見書を国に対して提出し、土岐市議会として明確な意思表示をした以上、一定期間の動向を見極める必要があり、現段階で結論を出すのは時期尚早であり継続審査としたい。
- 討論** 物価高騰を乗り越え早期に実現してもらいたいというのが請願者の想いであり、継続審査には反対する。
- 討論** 物価高騰による経済的負担の軽減という意見であるが、給食費の恒久的な無償化とは分けて議論すべきである。9月定例会において意見書を国に対して提出し、現段階で結論を出すのは時期尚早であり、継続審査に賛成する。

行政視察報告

文教厚生委員会

視察先

福井県大野市 11月8日(水)
「大野ですくすく応援パッケージについて」
石川県小松市 11月9日(木)
「介護ロボット普及促進事業について」

文教厚生委員会では、令和5年11月8日(水)、9日(木)の両日にわたり、福井県大野市と石川県小松市への行政視察を行いました。

大野市では少子化対策として、県内で一番子育てしやすいまちを目指し、「大野ですくすく子育て応援パッケージ」を、また次の小松市では、社会福祉法人が運営する特別養護老人ホーム「名峰の里」を視察し、介護ロボットなどのICT機器の導入による介護職員の負担軽減を図る努力を展開して見えました。少子高齢化が急速に進む中、今回の視察で学んだことを精査し、土岐市の行政へ働き掛けていきたいと思います。

(委員長：水野 哲男)



石川県小松市

総務産業建水委員会

視察先

大阪府大東市 11月15日(水)
「morineki(もりねき)プロジェクトについて」

大東市では、PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）と呼ばれる公民連携による国内初の市営住宅の建て替え事業を導入。低床な木造住宅、企業誘致したお店が並び、芝生のある公園に囲まれ、人流ができる。今後、人口減少、高齢化、地域経済の縮小により、このような地域の実情に合わせた官民連携によるまちづくりは必要と思う。



大阪府大東市

視察先

大阪府豊能町 11月16日(木)
「AI オンデマンド交通(ハニタス)について」

豊能町では、公共交通が利用者の減少と運転手不足もあり、減便、廃止の危機になっている中、デジタル田園都市国家構想推進交付金でAI オンデマンド交通ハニタスの実証実験を開始。AI オンデマンド交通は、住民の利便性向上のために、多様なニーズに応える一つのツールと思う。公共交通の現状と課題を整理し、寄り添う支援が必要と考える。

(委員長：水石 玲子)



大阪府豊能町

委員会報告(総務産業建水委員会)

令和5年度土岐市一般会計補正予算(第4号) 所管部分

質疑 道の駅物価高騰支援金について、どのような割合で支援するのか。

答弁 物価高騰分に対して、どんぶり会館は、指定管理であるため影響額の全額を、志野織部は第三セクターで土岐市が約3割を出資しているため影響額のうち出資相当分を負担する。

土岐市部設置条例の一部を改正する条例について

質疑 文化振興に係る事項について、教育委員会から産業文化部を創設して、そこへ移管する意図は。

答弁 文化財や文化活動も一つの地域資源と捉え、陶磁器産業を併せ、地域の活性化に活かせるよう体制整備する。

質疑 放課後教室を教育委員会から市長部局へ移管する意図は。

答弁 子育て施策を集中的に取り組んでいくという議論の中で、放課後教室も子育て施策の一つとして位置づけるため移管する。

質疑 これまで地域振興部が所掌した人口減少対策は、どの部署が所管することになるのか。

答弁 人口減少対策は大きな問題であり、全庁的・横断的に取り組むものであるため、それぞれの部署が、人口減少対策に対して担うべき役割をより明確にして分掌事務に記している。

質疑 所掌事務に明記されないと、人口減少対策の取り組みが担保されないのではないか。

答弁 人口減少対策のための内部組織を立ち上げ、全庁的に取り組む形で推進していきたい。

討論 人口減少対策は非常に重要な施策であるが、現段階で、今後の取り組みが担保されないためこの条例に反対する。

土岐市教育に関する事務の職務権限の特例を定める条例について

質疑 教育委員会から市長部局へ所掌事務を移管する意図は。

答弁 市長部局、教育委員会それぞれで担っていた業務を集約し、効率を図るのが目的である。

土岐市職員定数条例の一部を改正する条例について

質疑 定数が6名減少することにより、業務に支障はないのか。

答弁 幼稚園・保育園の再編に伴う減であり、行政運営に支障はない。

市道路線の認定について

質疑 今回の認定箇所は、過去から市道認定の要望が出ていたが、なぜ今回認定されるのか。

答弁 道路敷地の境界が確定し、道路敷地を土岐市に寄付されたため、認定要件を満たすこととなったため認定する。

財産の取得の変更について

質疑 減額の契約変更であるが、その経緯は。

答弁 今回装備予定の人工呼吸器は、メーカーの機器不具合により出荷停止となったため、やむを得ず、簡易的な人工呼吸器に機種を変更した。

一般質問

12月議会では11名の議員が市政に対して、一般質問を行いました。
議会だよりでは、一般質問の要旨を各議員の文責において掲載しております。
土岐市ホームページでは、インターネットによる議会映像の配信や定例会・臨時会の会議録を掲載しています。ぜひアクセスして詳細をご覧ください。



一般質問へのアクセス方法

視聴の場合

土岐市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒

どちらかの方法

議会ライブ中継 ⇒ 議会の日程から選ぶ
⇒ 視聴したい日にち ⇒ 一般質問
議会ライブ中継 ⇒ 議員の名前から選ぶ ⇒ 日時を選ぶ

文書の場合

土岐市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒
議会会議録検索 ⇒ 会議録検索システムへ

《第5回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案

◆市道における交通安全対策について
●沿道の雑草、竹木等の対策
問 毎年交通の支障になり、交通事故の危険が高まる道路わきの雑草や竹木の対策は。
答 市民の皆さんからの対応についての通報については、今年度11月までで、草刈り13件、伐木43件あり、市有地の場合は職員が業者委託で速やかに処理対応している。民地の場合には所有者の方に訪問や電話等で伐採等の処理を依頼しているが、緊急の安全確保対応が必要な時は市が行う場合もある。カーブ等の見通しの悪い箇所の年間を通じての対策については、道路法面等の防草シートや防草コンクリートなどの手法も有効であるがコスト面で高価である。全体を実施することは困難であるが、現在施行中の陶元浅野線で防草コンクリートを導入しており、今後の新設道路等の導入についても前向きに導入を検討していきたい。



● 水野 哲男 ●

●冬場の凍結対策
問 融雪剤の散布と凍結しにくいカーブミラーによる対策は。
答 融雪剤散布の市による外部委託については、予算的な問題や国道や県道が優先になり業者不足で市道まで手が回らないというのが実情であり困難である。凍結しにくいカーブミラーとは、鏡面の裏側に内蔵された蓄熱材により曇りや凍結を防ぐ効果のあるもので、材料単価で3割増となるため、すべての交換は考えていないが、地元要望があれば設置場所の必要性を確認し採用していきたい。今までの設置実績は、5か所8枚である。

●交差点の対策
問 重大事故や災害に強いといわれている環状交差点・ラウンドアバウト導入についての市の見解は。
答 ラウンドアバウトは交通量等が一定の条件下において、安全かつ円滑な道路交通を確保することができるものとして、平成26年9月1日の関係法令施行から全国で設置が始まった。県内では現在3か所設置されているが、特に近隣自治体で計画中或いは施行中の案件があり、供用開始後の効果や課題の情報を集め、導入については引き続き研究し検討していきたい。



木股 英明

◆環境センターについて

問環境センターの焼却施設並びに最終処分場は、あと何年くらい稼働可能ですか。

答建屋は17年、焼却施設は、長寿命化計画に基づき点検・整備・補修・更新を行っておりますので、今後20年間使用が可能である。

管理型最終処分場が残余率41・9%、安定型最終処分場が残余率56・1%となっており、管理型最終処分場が34年、安定型最終処分場が55年です。

問多治見、瑞浪、土岐の東濃西部3市によるごみ処理広域化に向けた協議の進捗状況をお聞かせください。

答東濃西部広域行政組合を事務局として、3市の市長に対し、統合による処理効率、エネルギー効率の向上コストの圧縮、より安定的で安全な処理、脱炭素社会実現への寄与などを理由としてごみ処理施設の広域化を目指し、今後も検討を続けることの説明がございました。

問集積場は市内に幾つありますか。

答可燃ごみ882か所、不燃ごみ863か所、粗大ごみ及び資源物が508か所設けられている。

問集積場に対する市の助成などはあるのでしょうか。

答砂利やコンクリートなど維持管理に必要な原材料の支給として2万円を上限として実施しております。なお、現時点では消耗品については対象としておりません。

問今までに何件くらい助成の申請がありましたか。

答平成28年度から今年11月末まで7年8か月分で、合計で63件の申請がございました。

問クラスよけネットは消耗品ではありますが、助成の対象にしたいだけないでしょうか。

答ご提案いただいたクラスよけネット等についても、環境保全や生活環境の向上に資するためということで助成対象の拡大について今後検討していきたいと考えております。

◆市民バスについて

問A1オンデマンド交通を取り入れるお考えはあるのか。

答今後、公共交通に係る規制緩和など国の進めている動向を注視しながら、実証実験に向けて、本市にとって最適な手法やその利便性、費用対効果などを検討して考えていきたいと存じます。

《第5回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



水石 玲子

◆避難所について

問指定避難所の洋式化率は。

答トイレ総数776基の内、洋式トイレは596基、洋式化率は76・8%。

問今後の取り組みを伺います。

答内閣府の避難所におけるトイレの確保・管理ガイドラインによるとトイレの環境悪化が健康被害、衛生環境の悪化をもたらすとある。施設の改修、トイレの改修の際には、洋式化を前提として進めていく。

問避難所の機能強化として、レジリエンストイレ（災害配慮トイレ）の導入のお考えはありますか。

答少量の水でトイレ環境を保つことのできる優れたものと認識している。しかし、専用配管の設計や施工が必要である為、現在小・中学校でのマナーホールトイレの整備を優先して進め、その後のトイレの新設や改修に合わせて検討していく。

◆切れ目のない子育て支援

問発達障がい早期発見と対応策について、本市の取り組みは。

答年長児を巡回訪問し、行動観察簡易的な面接による検査、構音検査、仲間外れ検査等実施。その後、教育相談会や園とのケース会議で子どもの実態と支援を協議し、小学校への適切な就学へつなげている。又、年末年始にかけては、3歳児、4歳児を対象に園を巡回訪問している。

問政府は発育状況を確認する為5歳児健診を公費負担とする方向で調整中。本市の対応は。

答（市長）発達障がいは、早期発見、早期対応が大事であると認識している。その重要性の中で、就学前の巡回訪問、相談体制の強化に取り組んでいる。建設中の新病院に、発達障がいセンター（仮称）を設置して対応する事を検討している。



肥田町みんなのフェスティバル



● 後藤 正樹 ●

◆全世代健康寿命延伸事業「ときげんきプロジェクト」について

問 令和2年度に始動した健康寿命の延伸を目的とする「ときげんきプロジェクト」を、これからどのように広げ、また深めていくつもりなのか、加藤市長の見解を伺いたい。

答 急激に推進していくことは難しく、地道ではあっても取り組みの成果を着実に積み上げていくことが大事であると思っている。また、押しつけではなく、市民の皆さん一人一人に健康に対する意識を持ち続けていただくことが大変重要であると思っており、引き続き、そのことを声高に訴えていきたい。

●子どもから高齢者まで、一人でも多くの市民の方が自らの健康に関心を持ち、健康寿命の延伸を意識した健康づくりに楽しく取り組むことができるよう、健康ポイント事業等も上手く活用しながらプロジェクトを強力に推し進めていきたい。

◆高齢者の単身世帯を対象とする見守り活動の強化について

問 高齢者の単身世帯が今後増加していくことが明白である中、本市では、一人暮らしの高齢者を対象として、実際にどのような見守り活動が行われているのか。

答 自宅を訪問する見守り活動として、福祉台帳に登録されている方を対象とする民生委員による定期的な訪問、配食サービス事業における配達時の安否確認と声掛けが行われており、シルバー人材センター、社会福祉協議会、地域包括支援センターによる訪問も実施されている。また、通信機器を利用した見守り活動として、緊急時の速やかな対応と安否確認を目的とする緊急通報システム事業を実施している。さらに、地域全体による見守り活動として、19の事業者と見守り活動に関する連携協定を締結し、各事業者が通常の業務において見守りを行い、異変を察知した場合は市に連絡、緊急時には消防・警察に通報する体制も整えている。

●見守り活動という、言わば「安全装置」によって支援が必要であると察知したときに適切な支援を迅速に行える仕組みや体制をしっかり整え、市民の皆さんにとって、土岐市役所が心から信頼できる「安心装置」であるための取り組みにも力を尽くし、誰もがいつまでも安心して暮らせるまちづくりを進めていきたい。

《第5回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



● 塚本 俊一 ●

◆PTA活動について

問 本市における各学校のPTA活動の現状はどうか。

答 各学校のPTA活動状況の詳細は把握していないというのが現状です。

問 先生も含めてのPTA活動ですので教育委員会等々の意見なり指導が反映されてもいいのではないか。

答 教育委員会としては、積極的に干渉したりすることについて法的にも難しいことでもあります。

問 任意団体で法的制約もなく、自ら作成する規約、または会則により運営されているPTA役員選出の課題をどのように受け止めているか。

答 立候補などの様々な方法で役員選出を変更している学校もあると聞いています。

問 PTA活動の一部を業者に外注することをどう考えるか。

答 保護者と学校の教職員とで成立しているPTA活動は、本来お互いの信頼関係の中で成り立つという関係づくりであります。活動を通じて、信頼関係をまたさらに構築していく

ことが大事であると思っている。

問 「結のまち」サポート募集の現状とPTA活動を担っていたらどうか。

答 117名のサポーターが登録されており、草取りや、読み聞かせなどの活動をされている。サポーターさんの賛同でPTA活動の協力も可能。

◆民生委員・児童委員の担い手について

問 民生委員・児童委員の現状は。

答 土岐市では、152人の方に委嘱して、活動をされている。

問 民生委員・児童委員の担い手不足の対策について。

答 必要以上をお願いすることを増やさないようにしていく。パンフレット・チラシを配布していく。

◆ゴミ問題について

問 管理型・安定型埋立て処分場の現状は。

答 平常時においては、あと管理型34年・安定型55年埋立て可能である。

問 家庭用の生ゴミ処理機・コンポストの利用数は。

答 平成6年度から累計数は生ゴミ処理機1903件・コンポスト1075件、合計2978件で、今後も補助制度を実施する。

問 学校給食の残飯などの処理は。

答 毎日430kg環境センターで焼却処分している。今後、循環型社会を目指して施策を検討していく。



○ 小栗 恒雄 ○

◆パワハラ被害17人回答

問 令和5年9月7日の新聞によりまずと、消防署内のパワハラ行為を訴える匿名の投書が届き、消防署内でアンケートを実施されたとのことですが、その結果と無記名であったのか、ご答弁をお願いします。

答 令和4年9月に人事課の方に相談がございまして、全消防職員に対してアンケートを実施しました。研修中だった2人を除く73人に記名式で行いました。「パワハラを受けたことがある」という回答が17人、割合として23%から寄せられました。

問 こうしたアンケートは無記名でやらないと駄目ですよ、私は勇気ある17名に敬意を表したいと思います。記名式でやったら真実が掴めないの潜在的にもっとあると思います。

答 先程の消防署以外については、処分に該当する事案は発生していません。内部告発等の窓口を設けておりますので、そういうところに相談していただければ事案として成立します。そこで確認しております。

問 市長のハラスメント排除の毅然とした姿勢が、役所関係の職場での発生防止になり、活力ある市政に繋がると思いますが、ハラスメント防止への市長の考えをお答えください。

答 (市長) 風通しのいい職場環境をつくっていくことが市政の進展につながるかと基本的に考えています。人事課の職員によりハラスメントの防止等に関する指針を策定しており、どの職員も見ることができる状況になっており、そういった指針を定期的に周知し徹底しております。それから意識の啓発は非常に大事でありますので、意識の啓発あるいは知識の向上を図るための職員研修なども積極的に行っているところです。

問 ハラスメントが発生したならば、最終責任者は市長です。玉虫色じゃなくシッカリと確認していくという市長の意気込みはどうなんですか。

答 (市長) ハラスメント事案については、私が審査会になる立場の人間ではないですから、副市長を中心にやって行くことになると思いますが、シッカリとした原因や対策なりを取るのが基本であります。それには対応していきたいと思っています。

私は、ハラスメントが横行している職場ではないと思っています。厳正に対応していきたいと思っています。

《第5回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案

◆観光資源



○ 安藤 勝彦 ○

問 本市において25年間、曾木公園もみじライトアップ委員会、また曾木町の皆様に支えられてきた曾木公園もみじライトアップが本年をもって見納めとなりました。リーフレットには「曾木町の人口も減少、高齢化を止めることが出来ず、今後実施することが困難となりました。またいつか逆さもみじが再開される時が来ることを祈っております」とつづられております。市長のお気持ちとしたい、今後のお考えをお聞かせください。

答 曾木町の皆さんが地域の資源を大切に守り、育て、磨き上げ、多くの来場者へのもてなし、そして喜びと感動を与え続けられたということは大変素晴らしい事。観光資源として捉えた場合には観光協会、関係者、関係団体とも協議し、何とかして再開できないか検討していきたい。

◆部活・クラブ活動について

問 部活と保護者クラブの境界線、または関係性、そして保護者クラブと

クラブチームの違いについて。

答 部活動は学校教育の一環として学習指導要領に位置づけられた活動。保護者クラブとは、部活に属している生徒の保護者を中心となり運営をし、学校と連動している。クラブチームは、学校職員以外の一般の方が運営をしております。

問 中体連について、種目によってはクラブチームも中体連に参加できるようになったと聞かれますが、本市においても同様ですか。

答 今年度、本市の中体連市大会にも、クラブチームが1チーム参加をしております。

問 部活の地域移行の準備が始まったと聞きますが、地域移行についての思いと進捗状況について。

答 子どもたちがどんどん少なくなっている現状の中で、本来の学校の部活動が成立してこない。生徒たちがスポーツや文化芸術に親しみ、立派な体づくり、また精神的に自己実現の場を持つてもらいたい。子どもたちの活動の場、居場所づくりを確立したいという気持ちで取り組んでいる。各学校の保護者クラブの代表者やクラブ指導者、クラブチームの指導者への説明会を持ちながら令和6年2月以降には趣旨に賛同をいただいている種目から募集を始めていく予定でございます。



山内 健

◆不法投棄による環境汚染について
問土岐市における不法投棄の現状について伺います。

答市が回収した不法投棄の処理重量についてということと答えると今から10年前、平成24年度は3万9,159キログラムあったがその後減少し、令和元年度が2万2,300キログラム、令和2年度が1万6,810キログラム、令和3年度が1万2,420キログラム、令和4年度は1万4,960キログラム、令和5年度10月現在で6,480キログラムです。

本年度は令和3年度と同じ程度で推移しています。不法投棄の内訳は、タイヤ、家電、家具、布団、コンクリートブロック、ガラス、本などで現在のところ、周辺環境や土壌に重大な影響を与えるような事案はないと認識しています。

問不法投棄の場所や行為の時間帯など、どのような分析をされているのか伺います。

答場所は道路の路肩や待避所で、監

視活動ができない夜間人目につかない時間帯です。

問そう言った分析を生かし市としてはどういった対策を行っているのか

答地元の自治会からご推薦いただいた不法監視員の38名の方に委嘱をしており監視活動を行っていただき報告もいただいております。

さらに、環境美化作業員による毎日の監視活動、市職員による随時の監視活動を行っています。

また、度々不法投棄される場所には、不法投棄禁止の看板を設置しています。

問不法投棄の防止策として、防犯カメラを導入して一定の効果を得ている例が挙がっています。防犯カメラの存在が犯罪の抑止力になります。土岐市においても防犯カメラの導入をご提案したいと思います。

答防犯カメラの導入は、不法投棄が多い場所などに設置することで抑止効果、行為者の特定につながることでできるなど、防止に一定の効果があることは承知しています。

防犯カメラは、設置台数が限られ、運用については限界があることも事実です。防犯カメラについては、不法投棄の状況を注視して、必要に応じて導入について調査・研究をしてまいりたいと考えています。

《第5回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



渡邊 豪

◆切れ目のない子育て支援について
問発達障がいのある早期発見に対する保護者からの相談体制の取り組みは。

答母子保健法に規定されている乳幼児健診以外にも毎月開催している乳幼児健康相談、あるいは電話・面接による随時相談などを実施し、乳幼児の健康に関する相談について対応している。相談の中で、言葉が遅いなど発達が気になる児童に対しては、健診後フォロー教室や臨床心理士による発達相談などに参加していただき、個々のケースの状況に応じて幼児療育センターの利用を案内したり、場合によっては医療機関への受診勧奨なども行っている。

問幼児療育センターの現状はどうなっているか。

答幼児療育センターは管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、保育士2名、児童指導員1名、言語聴覚士1名、計6名の体制で運営しているほか、指定障害児童相談支援事業所として相談支援専門員1名がいる。利用状況においては、適切にサービ

ス利用ができるように人員体制を整えているが、今後よりきめ細やかな支援を行っていくためには、さらに保育士、児童指導員が必要となる。今後増大する見込みの障がい児福祉サービスに必要な方が適切に受けられるように、指定管理者と連携、協議をしながら人員の確保に努める。また、療育センターの利用体制において適切なサービス利用に努め、よりきめ細やかな支援につなげていきたい。

問通級指導教室の今後の課題は。

答通級指導教室に通いたいというお子様がどんどん増えてきているというところに関しては、いい意味でも捉えられますし、学校としては、人員の確保という部分では課題になってくると思っている。

●親身な相談、寄り添った伴走的な相談、そして誰もが健やかに成長し、自立に向けた支援、そういう切れ目のない支援を今後ともお願いしたい。





伊藤 公男

◆市民の健康を守る取り組みについて

問市からの带状疱疹予防ワクチン接種への助成について

答予防接種の意義は大きいと捉えております。しかしながら、現在は任意接種ワクチンとして予防接種法に規定されていないワクチンで、費用については全額自己負担となっております。

このワクチンの定期接種につきましては、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会において、期待されている効果や導入年齢などに関して検討を要するという事として、議論がなされております。

市としては、国及び県内の動向を注視しながら、地元医師会のご意見を伺い、費用助成については引き続き検討していきたい。

●带状疱疹ワクチンの接種は高額であり躊躇してしまう料金です。病になってから治療するのではなく未然に防ぐという観点からも、市としても助成していただきたい。

◆有害鳥獣駆除について

問今年度におけるイノシシの出没頻度、被害状況は増加傾向にあるのか

答イノシシの出没頻度については捕獲頭数でお答えします。昨年度は338頭、本年10月末現在では既に388頭となっており昨年度より大幅に増加している。

被害状況につきましては、捕獲頭数は増えておりますが、様々な対策が講じられてきた結果と思われますが、被害額については比較的抑えられている状況である。

問駆除に対して支給される報奨金の年間上限について

答昨年度の実績が338頭でありましたので、増加を見込み、今年度につきましては380頭分を予算化しておりますが、この夏に予想以上の増加がありましたので、10月には当該予算は尽きている状況にあります。報奨金の財源不足につきましては、他事業からの流用などにより対応していきたく考えています。

市としてはイノシシの被害が今後拡大しないよう、猟友会の皆さんと協働して対応していきたい。

●小学生が登校する際、通学路の対向車線の歩道にイノシシが走っていたそうです。人的被害が出る前に学校からも遭遇した場合の対処法など注意喚起していただきたい。

《第5回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



小関 篤司

◆18歳までの医療費無料化

問18歳までの医療費助成を実施した場合の試算額は。

答約4200万円と推計しています。

問他の自治体での進捗状況は。

答県内42市町村中28市町が実施、東濃地域では恵那市は令和4年度から実施しており、多治見市は令和7年度から、瑞浪市と中津川市は令和6年度から実施予定と確認している。

問制度の検討状況はどのようなか。

答(市長) 制度については、全国一律でやるのがいいのではないかと、市長会、議会からも意見書を提出されている実態です。市単独で政策、切り替えるかは、持続可能な制度維持ができるか、市民の皆さんがどう考えておられるかも踏まえて判断すべきと思っておりますので、引き続き検討課題と捉えています。

問全国で約7割が実施しています。この地域でも格差が起これば始めている、すぐに検討を終わらせて早期に実施すべきだが、いかがですか。

答(市長) 例えば選挙公約の中で言

われて導入されたケース、隣の自治体がやっているからやる自治体も多くあると思っています。土岐市は真面目に持続可能な制度として成り立つか、福祉医療との絡みはどうか、そういった観点で検討すべき。検討の自身はいつからやるのかも入っているとご理解頂ければと思います。

◆学校給食費の無償化

問学校給食費の無償化について近隣の状況も勘案して市長の考えは。

答(市長) 自治体間の競争はいい傾向ではない。土岐市は1500万円かけて物価高騰分の穴埋めする考え方でやっています。当面、無償化の予定はないが、情勢をしっかりと見ながら引き続き支援したいと思っています。

◆新しい総合体育館の建設について

問現状施設の老朽化の状況も踏まえて総合体育館の建設の考えは。

答(市長) 現状でその計画があるわけではございません。方針では増やさないこともあるが、老朽化等により、例えば施設統合という手段はないことはないと思います。健康増進のためにスポーツの果たす役割というのは、指摘された通りであると認識しています。将来的に個人の意見ではそういった施設は是非欲しいという思いは持っております。市長という立場からは、皆さんと議論をしていくことが大事だと思っています。

令和5年度議会報告会を開催しました

6会場で149人が参加

土岐市議会では、令和5年度議会報告会を10月20日から27日にかけて、中学校区を単位に市内6か所で開催しました。今後も開かれた議会を念頭に、皆様への説明責任を十分に果たしてまいります。

テーマ

1. 新病院について
2. 博物館について
3. 議会の活動報告について

この度の議会報告会は改選後初となり、新人議員にとっても初めてのことでありましたが、市民の皆様のご協力のもと無事に開催できましたこと厚く御礼申し上げます。しかし、今回市民の皆様の参加が少なかったことは議会活動に関心がないとの見解を致しました。大いに反省し今後は皆様に関心を寄せていただけるよう議会、議員活動を進めてまいります。皆様のご意見はいつでもお待ちしております。



○ 議会の活動報告について

- ・委員会の役割の説明だけで具体的な課題を取り上げると理解できたと思う。
- ・議会改革はわかるが、改革の理由と結果がわかりづらかった。

○ 新病院について

- ・計画が市民の声を拾えていない。
- ・産科の充実、先端医療機器の充実をしてほしい。
- ・誰もが行ける。あそこへ行けばよい！という病院となってほしい。

○ 博物館について

- ・博物館が楽しみ。
- ・市民は本当に望んでいるのか疑問。造っても学芸員(人材)を置くことを含めモヤが掛かったような印象。
- ・管理費が市税負担とならないように。美濃焼の観光地としての運営を願う。

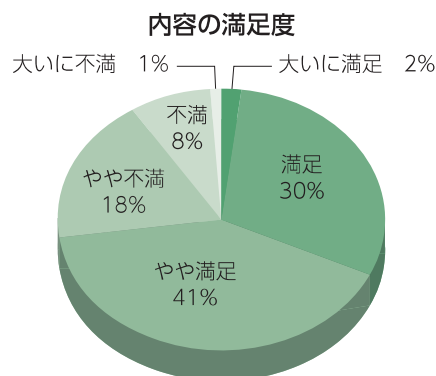
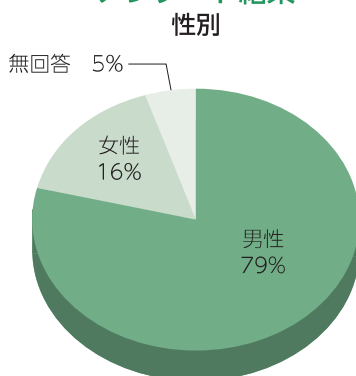
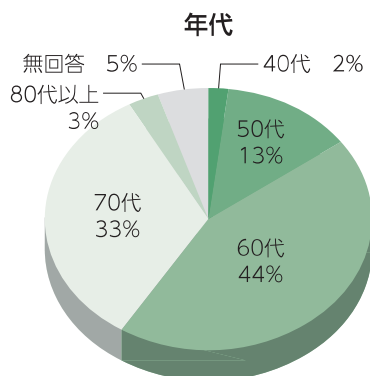
○ 報告会について

- ・パワーポイントと資料を同じものにしてもらいたい。
- ・市民の意見を聴く会をやると良い。一方的な説明でなく皆さんの意見を聞いていただきたい。
- ・どのテーマについても大変活発で貴重な意見が出され充実していたと思う。

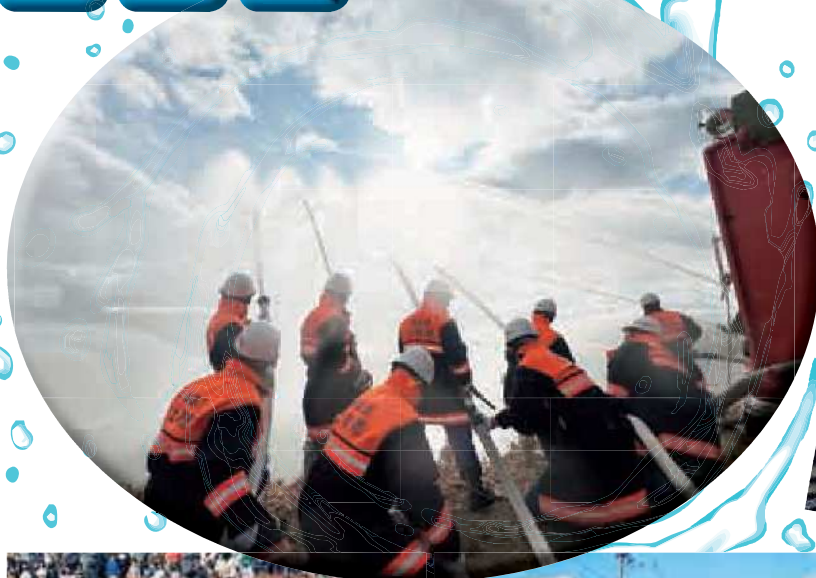
○ その他

- ・市民税、固定資産税を下げるようにしてほしい。
- ・総合病院の跡地利用はどうか。
- ・議会に関心のある少数の高齢者ばかりで、有権者が興味を持てるような情報発信を。
- ・議員18名中女性が1名、少なくとも5名は女性議員がいないと女性の意見が入った議会ができないのではないかと。

アンケート結果



出初式



編集後記

1月に発生した能登地震による災害で被害を受けた地域の皆様に心からお見舞い申し上げます。

また、亡くなられた方々につきましては、謹んで追悼の意を捧げますとともに、ご親族の皆様に深くお悔やみ申し上げます。

災害の少ない本市においても、たいへん大きな揺れを観測いたしました。

身近なところで被害が出ていないと忘れがちですが、日頃から意識を向け、災害時に必要な飲料水や非常食などを事前に備蓄しておくことも大切です。そして災害が発生した際には迅速に安全な場所へ避難できるよう、家族や近隣の方と協力して事前に避難計画を作成する事も重要です。「自助」「共助」「公助」を大切にしていきましょう。

(文責：安藤 勝彦)

議会だより編集委員会

委員長：塚本俊一 副委員長：渡邊豪
委員：加藤淳一 北谷峰二 大久保一夫
木股英明 安藤勝彦 伊藤公男

3月定例会(予定)

※午前9時 開会予定
(変更の場合あり)

日	月	火	水	木	金	土
2/25	26	27	28	29	3/1	2
			本会議 初日 (議案提案説明)			
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
	本会議 2日目 (質疑・委員会付託・ 一般質問)	本会議 3日目 (一般質問)	本会議 4日目 (一般質問)	文教厚生 委員会	文教厚生 委員会	
17	18	19	20	21	22	23
	総務産業 建水 委員会	総務産業 建水 委員会				
24	25	26	27	28	29	30
				本会議 最終日 (委員長報告 質疑・討論・採決)		
31						